

献辞

衣斐成司先生と川岸繁雄先生は、二〇〇六年三月三十一日をもって神戸学院大学をご退職なさいました。法学部教員一同から先生方への敬愛と感謝の念を込めて、ささやかではございますが本書を献呈申し上げます。次第でございます。

衣斐先生は、一九三五年十一月、京都市にお生まれになり、大阪市立大学法学部・同大学院法学研究科を経て、六八年四月、開設二年目の法学部に専任講師として赴任されました。そして、七六年六月に教授となられ、法学部長・大学院法学研究科長・理事として学部・法人の発展にご尽力された後（八一年四月～八三年三月）、学校法人神戸森学園（現神戸学院）評議員として、法人の発展に多大のご貢献をなさいました（八三年九月～二〇〇五年九月）。また、日本私法学会理事を歴任され（九六年一〇月～二〇〇一年九月）、九七年一〇月に本学で開催された第六一回大会では開催校の実行委員長として大会運営を差配され、大会を成功に導かれておられます。

川岸先生は、一九三五年一二月、富山県にお生まれになり、同志社大学法学部・京都大学大学院法学研究科を経て、六七年四月、開設と同時に法学部に専任講師として赴任されました。そして、七九年四月に教授となられ、法学部長・大学院法学研究科長・理事として学部・法人の発展にご尽力された後（八五年四月～八七年三月）、大学評議員として、大学の発展に多大のご貢献をされておられます（八七年四月～八九年三月、二〇〇四年一月～〇六年三月）。その間、パリ大学においてフランス政府給費留學生として（六七年一〇月～七〇年九月）、ヴァ

ージニア大学においてフルブライト研究員として研修されておられます（七七年九月～七八年八月）。また、国際法学会評議員（八三年四月～〇三年九月）や日本学術会議国際関係法学研究連絡委員会委員（九四年四月～九七年一〇月）を歴任され、学会においても多大のご貢献をされておられます。

ところで、衣斐先生とは、私が大阪市立大学法学部に入学した時に配布された時間割に、「法学・衣斐」（法学部以外の学生対象のご講義でしたので、受講しておりません。）という記載を拝見し、「この先生のお名前は何かとお読みするのだろう」と悩み始めた時から、先生とのおつきあいがあるように思えます。それから、一四年後、私が法学部に赴任した時に頂戴した名簿に、先生のお名前を「いび」というルビとともに発見した瞬間、長年の悩みが消え去った安堵感を覚えております。実は、そのような状況をお作り頂いた、つまり、私の割愛のために鹿児島までご足労頂いたのが当時の学部長であられた川岸先生であります。まことに個人的なことで恐縮ですが、お二人の先生には、何か運命らしきものを感じるのであります。

二〇〇七年四月には、法学部は創立四〇周年を迎えるとともに、三年次生・四年次生がポートアイランドキャンパスで学修することとなり、新たな四〇年が始まります。衣斐先生ならびに川岸先生におかれましては、今後、ますますご健勝であられ、ご活躍をお祈り申し上げますとともに、引き続き、ご指導・ご教授を賜りますようお願い申し上げます。

二〇〇六年四月

法学部長 岡田豊基